

新シニア産業カウンセラー試験 受験資格と合格者の声

2018年3月3日・4日、第一回「新シニア産業カウンセラー試験」が実施されました。受験者23名、うち17名が合格しました（合格率73.9%）。当サイトでは新シニア産業カウンセラー試験の3パターンある受験資格と、各受験資格から合格された方々の合格体験記を掲載します。これから受講を考えている方、受験予定の方はぜひご参考ください。

※下記は、概要のみとなっております。詳細条件は協会本部Webサイトを必ずご確認ください。

【協会本部Webサイト】 <http://www.counselor.or.jp/>

【受験資格要項】

1. 新シニア産業カウンセラー 育成講座を受講

産業カウンセラー試験合格後、当協会が定める新シニア産業カウンセラー育成講座において、必須科目18科目及び選択科目1科目の計19科目以上の修了証の発行を受けた方

2. 大学院修了者

産業カウンセラーの資格を有し、大学院研究科において心理学又は心理学隣接諸科学、人間科学、人間関係学のいずれかの名称を冠する専攻の修了者のうち、当協会が定めた一定条件を満たす方で当協会が指定する新シニア育成講座の科目の修了証の発行を受けた方

3. (旧)シニア産業カウンセラー 試験の受験資格保持者

(旧)シニア産業カウンセラー試験の受験資格を2013年3月末までに取得した方で、新シニア育成講座において42時間以上に相当する科目の修了証の発行を受けた方
2014年3月末までに履修した旧シニアコース講座の受講時間を新シニア育成講座の受講時間と読み替えた上で、当協会が定めた受験資格を満たす方
(※これらの経過措置は、2022年3月末までに実施される試験まで有効)



【合格者の声】

1. 気力と体力勝負の4年間 ～新シニア講座での学びと受験～



M.Oさん

2014年の新シニア開講時より受講をスタートしました。最初は本部開催がメインでしたが、抽選結果で受講が決まり、本部開催に外れることもあり、途中から行ったことのない支部へ行ってみよう!という気持ちが芽生え、他支部や旅行を兼ねての関西、四国で受講をしました。新しい出会いもあり、よい経験になりました。

講座自体は、事前学習で書籍の読み込み、レポート作成等、仕事をしながらの両立は大変でしたが、講習は、第一線の先生方の講義やグループワーク、ディスカッションと、とても魅力あるもので、興味が湧き探求したい気持ちが増しました。

講座後の修了レポートの提出は、振り返りをする機会となりました。3月の試験で無事合格ができ、私を支えてくれた人たちに感謝です。

この合格はゴールではなく、シニア産業カウンセラーとしてのスタートです。日々、自己研鑽に努め、学んだことを仕事や自身のキャリアに活かしていきたいです。

2. 大学院修了での受験



Y.Kさん

8年前に大学院の心理学研究科を修了した後、産業カウンセラー、キャリアコンサルタント資格を取得し、相談実務をはじめました。しばらくシニア受験をためらっている間に制度が変わり一度はすっかり諦めていました。

しかし、新シニア試験も要件がそろえば受験できることがわかり気持ちを新たに挑戦しました。

受験に向けての準備では、スーパービジョンを受けることで、カウンセラーとしての立ち位置、考え方を確認することができ、相談に見通しを持てるようになりました。提出課題の事例作成では逐語と事例検討の講座での勉強が役に立ちました。

受験したことで今までの学びの整理とカウンセリング実践経験の体系化ができ、自分のカウンセリングとクライアントとの関係性を見つめ直すことができた事が一番の収穫でした。

これからも学びと実践を重ねて、人生に寄り添い、課題解決を支援できるカウンセラーを目指していきたいと思っています。

3. 旧シニア受験資格からチャレンジ



S.Wさん

過去に旧シニア受験資格を持っていたものの、良い結果が得られずどう試験対策に取り組めば良いか、正直なところ、途方に暮れていました。

新シニア試験の情報が発表されてからは、気持ちを切り替え、42時間の追加講座は、休日を利用して1年ほどかけて受講しました。

特に興味・関心の強い講座を選び受講できたため、知識を深める絶好の機会となりました。

各講座、素晴らしい講師陣により大変内容が充実していました。事前・修了レポートは大変ではありませんでしたが、その分、各分野にしっかりと向き合い、咀嚼するかたちとなり、結果、身となり力になったと実感しています。

何より試験に再び挑戦する勇気を持つことができた事は本当に良かったです。

シニア産業カウンセラーとして、今後も一層、働く人や組織の支援に取り組んでいきたいと考えています。